



第2次 函南町歯と口腔の 健康づくり推進計画 (令和2年度～令和5年度)

概要版

計画策定の趣旨

本計画は、函南町民の健康寿命の延伸のために心身の健康を健やかに維持することを目的として、歯・口腔の分野について方向性を定めた計画です。

歯・口腔を健康に保つことは、食事を楽しめたり、会話や歌を楽しめたりするなど、からだの健康やこころの健康の増進にも役立ちます。一方で、歯・口腔の状態が悪くなると、咀嚼機能や構音機能の低下などを招くだけでなく、歯の喪失や肺炎、会話の減少などにもつながり、QOL（Quality Of Life：生活の質）の低下やからだの健康・こころの健康の悪化にもつながります。歯・口腔の健康を維持・増進することは、ひいては全身の健康を維持・増進することにもつながることから、より一層健康づくりに注力すべき分野と言えます。

本町では、「函南町民の歯と口腔の健康づくり推進条例」や本計画に沿って、函南町民の歯・口腔の健康の維持・増進を進めていきます。

※上位計画の函南町健康増進計画《第2次》の目標年度（最終年度）が令和5年度であることを踏まえ、本計画の計画期間を令和2年度～令和5年度に設定しました。

基本理念

誰もが生き活きと
暮らせる
健康づくり

《歯と口腔の具体的目標》

1. むし歯予防
2. 歯周病予防
3. 生涯にわたる口腔ケアの推進
4. 配慮を要する者への
歯と口腔の健康づくり支援体制
5. 食べる楽しみ、しゃべる楽しみのある暮らしの維持





胎児期及び妊娠期 ママからはじまる赤ちゃんの健康なお口

目指す姿と方針

- ◆ 妊婦歯科検診の受診者の増加
- ◆ 健康な口腔状態である妊婦の増加
- ◆ 妊娠期の受動喫煙対策

指 標	基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)
妊娠時に歯科医院を受診している者の割合	59.4%	68.8%	70%
妊婦歯科検診受診率	25.2%	45.3%	50%
妊婦むし歯未処置率	48.1%	38.8%	30%
健康な歯肉者率	14.8%	24.7%	30%
妊婦の喫煙率	4.1%	1.8%	0%

乳幼児期（0～5歳） むし歯ゼロ 親子で楽しく いい歯習慣

目指す姿と方針

- ◆ フッ化物塗布・フッ化物洗口を継続
- ◆ 栄養分野と連携し、咀嚼く機能獲得のための食生活や生活リズムを習慣化できるような支援



指 標	基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	
むし歯の有病者率	1歳6か月児	0.3%	2.5%	減少
	3歳児	9.5%	5.1%	減少
	5歳児	46.6%	32.6%	30%
フッ化物入り歯みがき剤の使用率	1歳6か月児	50.0%	71.1%	75%
	2歳児	55.4%	77.1%	80%
	3歳児	74.5%	83.3%	85%
フッ化物塗布実施率	健診同時	95.2%	93.4%	現状維持
	フッ化物塗布のみ			
	2歳6か月児	67.8%	77.7%	80%
	3歳6か月児	54.0%	63.9%	65%
フッ化物洗口希望率	幼稚園		92.8%	現状維持
	保育園	11園中9園	98.0%	現状維持
ブラッシング教室実施率（幼稚園・保育園）		11園中11園	11園中11園	現状維持

学童期・思春期（6～18歳） 自分で守ろう 自分の歯

目指す姿と方針

- ◆ 保護者や学校に対し正しい情報の発信
- ◆ フッ化物を利用した効果的な歯科保健対策の推進
- ◆ 食育と連携した歯と口腔の健康づくりの推進



指 標	基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	
フッ化物洗口希望率（小学校）	98.3%	96.3%	現状維持	
ブラッシング教室実施率（小・中学校）	7校中5校	7校中6校	全校実施	
5本以上むし歯を持つ子どもの割合	小学6年生	-	0.7%	減少
	中学3年生	-	2.0%	減少
歯垢の状態	小学生	11.8%	13.1%	減少
	中学生	18.0%	26.6%	減少
歯肉の状態	小学生	7.1%	2.2%	減少
	中学生	19.4%	26.5%	減少
小学生未処置歯率	4.2%	6.2%	減少	
12歳の平均むし歯数	0.3本	0.23本	減少	

青年期（19～39歳） 忘れずにお口の健診 丈夫な体



目指す姿と方針

- ◆ 若い年齢層が定期的に歯科検診を受けることは当たり前となる環境づくり
- ◆ 働き世代の企業に出向き、健康教育（出前講座）の推進
- ◆ かかりつけ歯科医院での口腔健康管理や適切な口腔清掃指導の受診啓発

指 標	基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)	
歯間清掃用具使用の割合	20歳代	18.2%	45.0%	50%
	30歳代	44.9%	52.9%	60%
1年1回以上定期歯科検診を受診する人の割合の増加	20歳代	11.9%	45.0%	増加
	30歳代	24.4%	38.2%	増加
歯周病に関する自覚症状がある人の割合の減少	20歳代	7.6%	20.0%	減少
	30歳代	13.2%	17.6%	減少
喫煙が歯周病のリスクであることを知っている人の割合の増加	20歳代	72.0%	70.0%	増加
	30歳代	69.4%	70.6%	増加
フッ化物入り歯みがき剤の使用率	20歳代	30.1%	55.0%	増加
	30歳代	59.2%	58.8%	増加

※歯周病に関する自覚症状とは、歯肉の腫脹や出血などを指します。

壮年期（40～64歳）

今が大事 お口の健康は長寿の要

目指す姿と方針

- ◆ 歯周病と生活習慣病との関連性など、あまり知られていないため、歯周病の全身に与える影響などについて、広く啓発
- ◆ かかりつけ歯科医院での健康管理や適切な口腔清掃指導を受けることの啓発
- ◆ 自覚症状がなくても症状は進行するため、知識の普及と意識づけ及び定期受診を行う人の増加
- ◆ 企業や事業所など働いている場でも歯と口腔の健康づくりの情報を得る機会がある環境づくり



指 標		基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)
歯周病検診受診率の増加	40歳	5.1%	5.2%	10%
	50歳	9.0%	5.2%	10%
	60歳	7.1%	7.7%	10%
1年1回以上定期歯科検診を受診する人の割合の増加	40歳代	26.4%	37.0%	増加
	50歳代	18.8%	27.8%	増加
	60歳代	23.6%	32.2%	増加
未処置のむし歯を持つ者の割合の減少	40歳	-	52.2%	50%
	50歳	-	43.6%	40%
	60歳	-	29.8%	25%
40歳で喪失歯のない人の割合の増加		87.1%	83.3%	増加
60歳で24本以上の歯を有する人の割合の増加		84.2%	91.4%	増加
歯周病に関する自覚症状がある人の割合の減少	40歳代	16.3%	14.8%	10%
	50歳代	20.6%	20.4%	10%
	60歳代	19.2%	17.4%	15%
歯間清掃用具使用の割合	40歳代	37.7%	46.3%	60%
	50歳代	45.0%	38.9%	60%
	60歳代	48.0%	50.4%	60%
咀嚼く良好者の割合の増加		60歳代	63.6%	70%

※歯周病に関する自覚症状とは、歯肉の腫脹や出血などを指します。



高齢期（65歳以上）

歯は命の泉 健診と手入れで健康寿命

目指す姿と方針

- ◆ オーラルフレイルの普及を図るとともに、咀嚼く良好者の増加
- ◆ 義歯のお手入れや使い方を学ぶ機会を作り、義歯があってもよく噛める人の増加
- ◆ かかりつけ歯科医院での口腔健康管理や適切な口腔清掃指導の受診啓発
- ◆ 歯科医師会と連携を図り、口腔粘膜疾患や口腔がんの早期発見・予防

指 標		基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)
歯周病に関する自覚症状がある人の割合の減少	70歳以上	21.4%	9.8%	減少
歯周病検診受診率の増加	70歳	9.4%	10.5%	15%
	80歳	-	28.2%	35%
未処置のむし歯を持つ者の割合の減少	70歳	-	29.1%	25%
歯間清掃用具使用の割合	70歳以上	50.0%	58.4%	60%
1年1回以上定期歯科検診を受診する人の割合の増加	70歳代	30.3%	37.9%	増加
	80歳以上	31.8%	36.7%	増加
咀嚼く良好者の割合の増加	70歳代	62.5%	68.5%	70%
	80歳以上	72.7%	61.2%	70%
8020コンクール参加者の増加		22人	48人	増加
歯周病検診における80歳で20本以上歯がある人の割合		-	71.9%	増加

※歯周病に関する自覚症状とは、歯肉の腫脹や出血などを指します。

特別な配慮を要する者

よく噛んで味わうよろこび お口の手入れを習慣に

目指す姿と方針

(1) 障がい児（者）

- ◆ 特別な配慮を要する人たちの歯と口腔の健康づくりに関する情報提供の充実

(2) 要介護者

- ◆ 介護者や施設職員などと連携し、口腔機能の低下防止
- ◆ 誤嚥性肺炎などを予防し、お口からおいしく食事ができるようサービスなどの支援

指 標	基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)
障がい児(者)施設での歯科健(検)診実施率	0.0%	16.7%	50%

指 標	基準値 (H26年度)	現状値 (H30年度)	目標値 (R5年度)
介護施設での歯科健(検)診実施率	45.5%	63.6%	70%



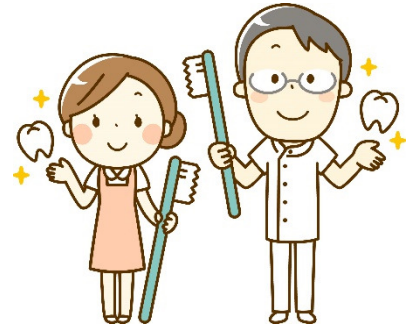
健康寿命の延伸、健康格差の縮小、生活の質の向上

計画の推進体制・進捗管理

本計画は、町民や地域、福祉・教育機関、企業などの様々な立場や分野の者が連携し、函南町として一丸となって取り組むために策定されています。特に本計画は町民の健康に直結する内容であることから、町民一人ひとりが歯や口腔の健康が自分に関係のあるものだと自覚して、日常生活において様々な取り組みを実践することが非常に重要です。

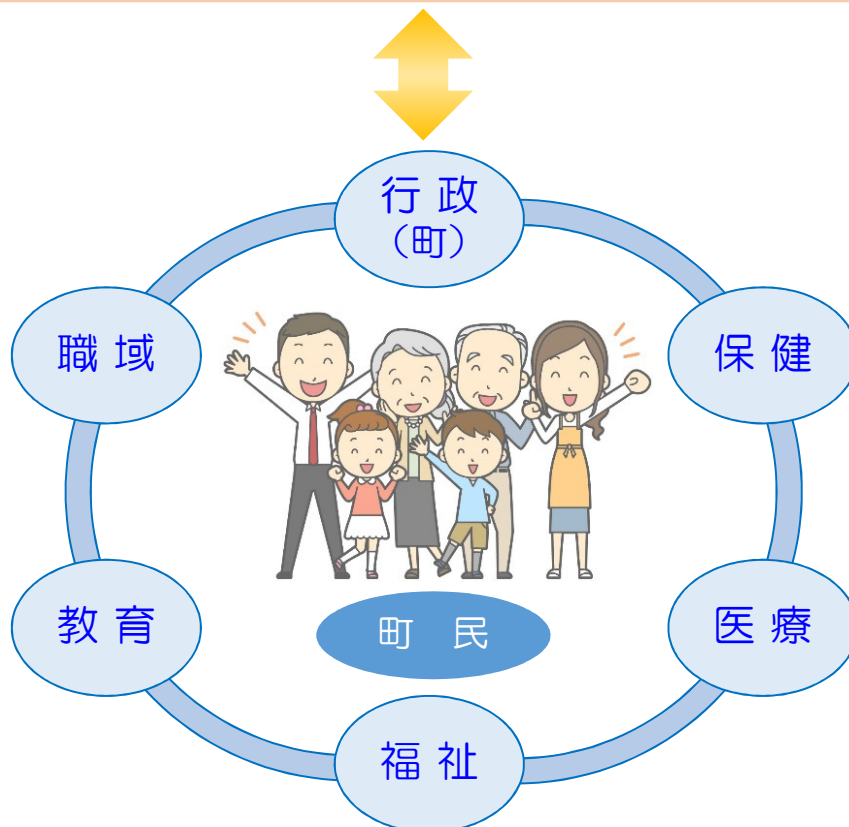
そのためには、本計画を町内に広く周知・広報したり、歯や口腔の健康についての情報をあらゆる媒体を通して提供する必要があります。また、福祉・教育機関、企業等には、歯や口腔の健康の維持・増進に関する取り組みへの参加協力や情報提供における協力を求めるなどして、日常的に町民が歯や口腔の健康について意識できる環境づくりを進めていく必要があります。

本計画は、町民の歯や口腔の健康の維持・増進に向けて効果的で効率的な取り組みが行えるよう、PDCAサイクルによる進捗管理を行います。本計画に沿って取り組みを実践した後は進捗を確認し、その効果等を検証・評価します。その結果、見直しや改善が必要と判断された場合には、より効果的で効率的な取り組みになるように努めていきます。



函南町歯と口腔の健康づくり推進委員会

* 計画の進捗状況の把握、評価、協議



発行：令和2年3月
編集：函南町 厚生部 健康づくり課
〒419-0107 静岡県田方郡函南町平井 717-28
TEL：055-978-7100 / FAX：055-979-4599